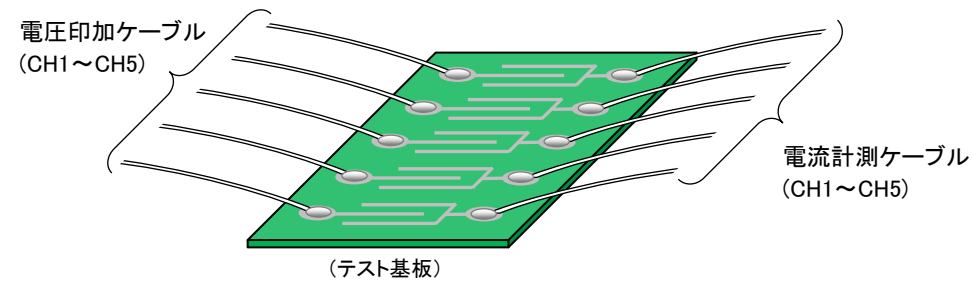


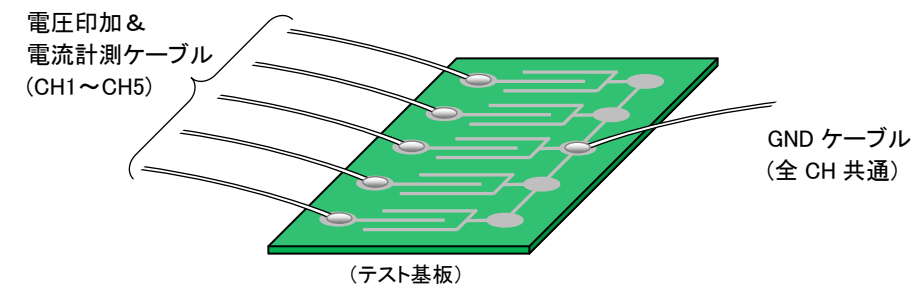
利便性の高い計測方式

ハイサイド計測方式は GND ケーブルが 1 本です。これにより様々な利点が生れます。例えば試験前の面倒なケーブルのはんだ付け工数は劇的に減ります。

■標準的なテスターの場合のケーブル接続図



■J-RAS ハイサイド計測方式のケーブル接続図



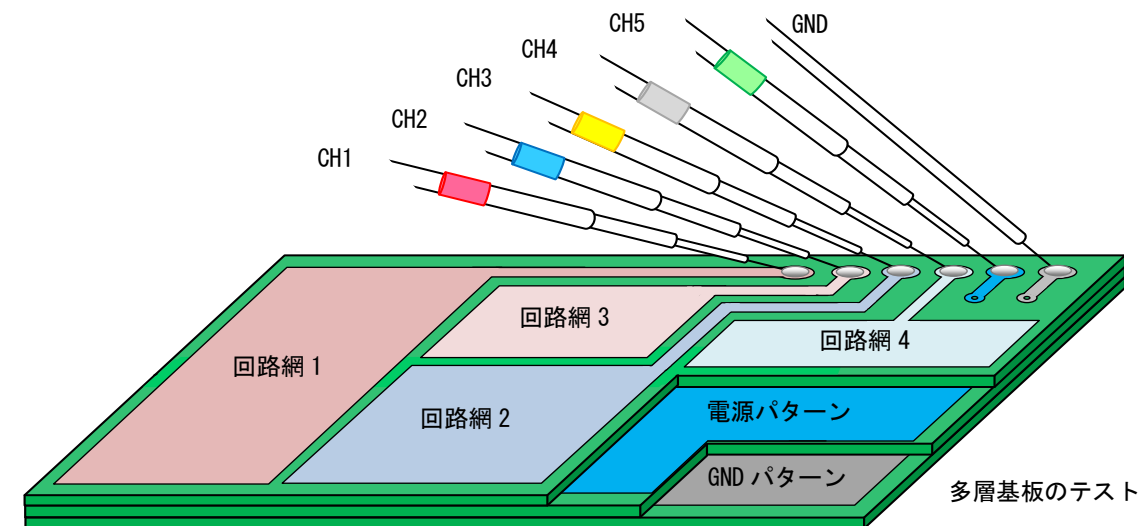
仮に 40 個のサンプルを試験するためのはんだ付け点数の差は 35 にもなります。
作業者の負担も大幅に減るので、単に工数削減だけではなく、はんだ付けミスの防止にもなります。

*この他にもケーブル本数が減ることによるメリットはいくつもあります。

本資料は、ハイサイド計測方法のメリット・特徴・活用方法の一部をご紹介します。
ECM-100 の機能との組み合わせにより、より幅広い用途にご使用いただけます。
具体的な計測方法、その他の詳細情報につきましては是非弊社までお問い合わせください。

多層基板の計測が可能

ハイサイド計測は GND 線が 1 本なので、多層基板の GND 層を基準点としての試験が可能です。基板上の複数の独立した回路網・電源パターン等に電圧を印加し、それぞれの相関関係はもちろん、層間絶縁も含めた総合的なマイグレーション試験が実行できます。



安定した計測方式

ハイサイド計測方式は印加電圧のフィードバック制御の安定性にも大変優れています。他の計測方式では難しいコンデンサの絶縁抵抗試験、部品内蔵基板のマイグレーション試験にもお使い頂けます。

